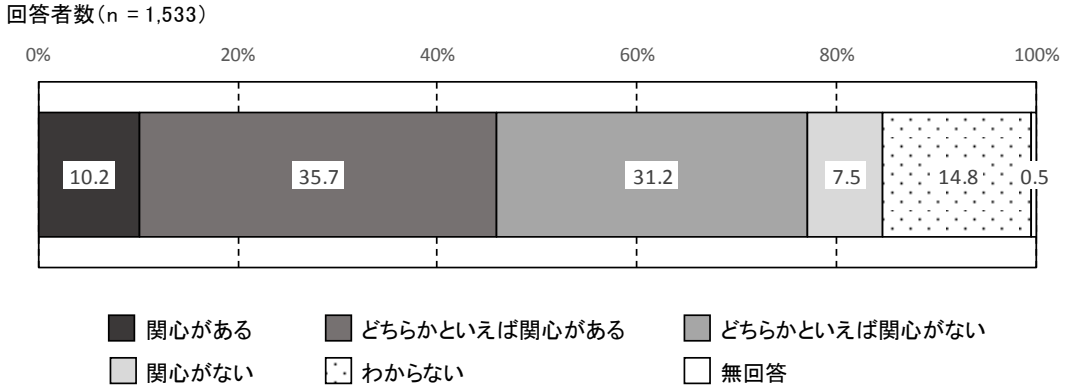
問１０　県事業への関心の有無

問１０　あなたは、岐阜県が行っている事業やその進め方について、関心をお持ちですか。（１つだけ）

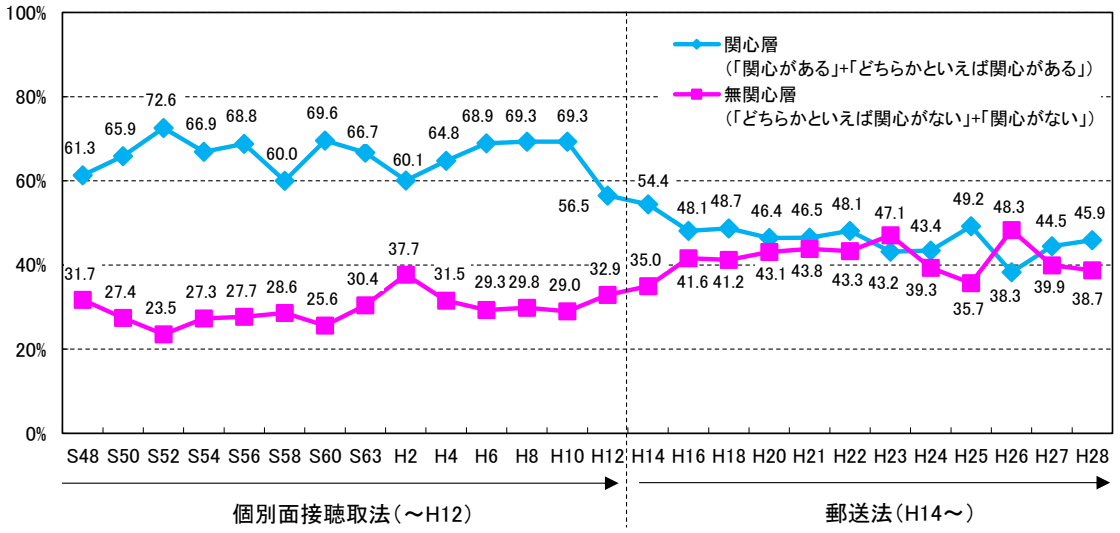
全体（図 10-1）でみると、「どちらかといえば関心がある」が 35.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば関心がない」(31.2%)、「わからない」(14.8%) の順となっている。

図 10-1　県事業への関心の有無



経年変化（図 10-2）でみると、関心層は前回に比べて 1.4 ポイント増加しており、無関心層は前回に比べて 1.2 ポイント減少している。

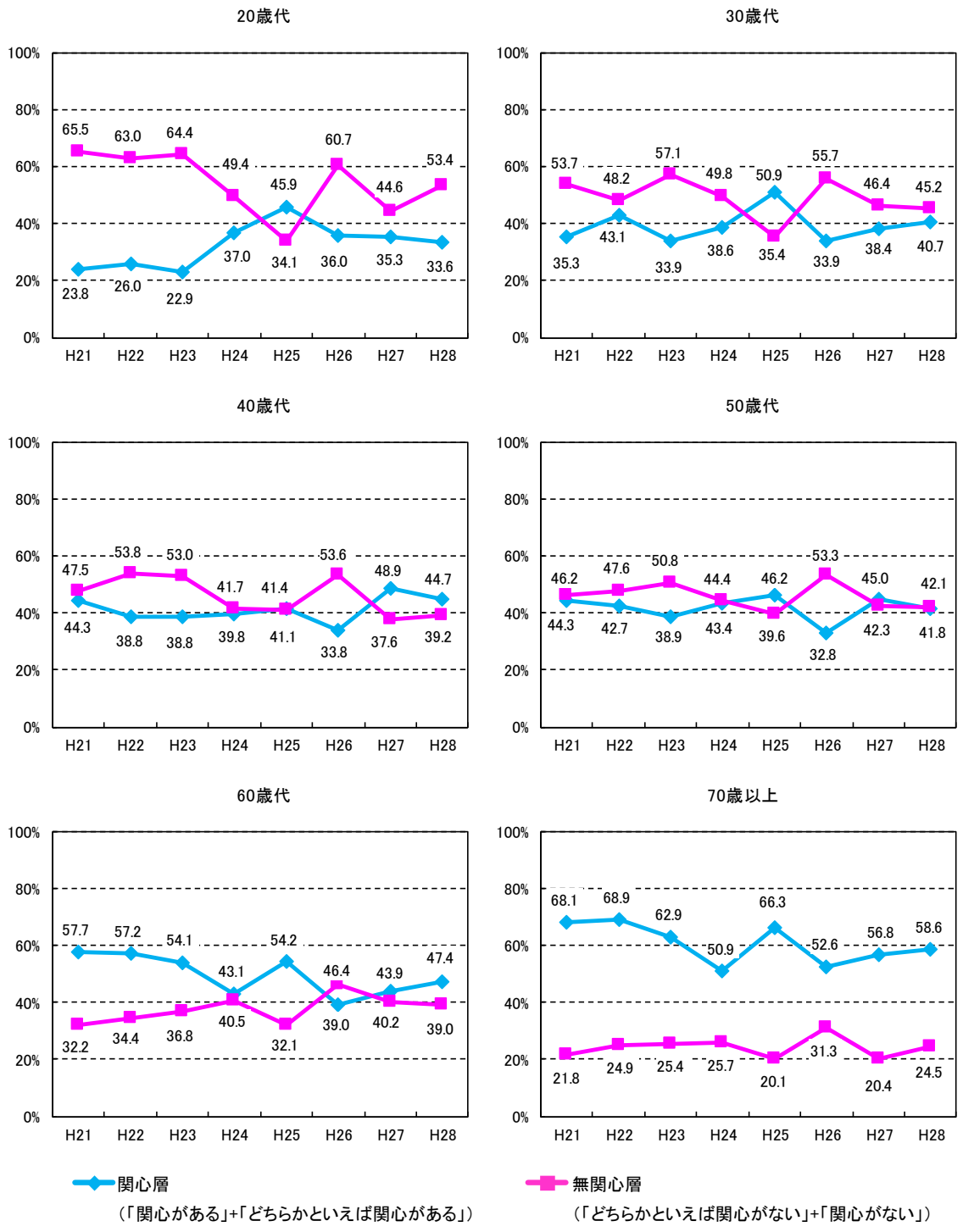
図 10-2【経年変化】県事業への関心の有無



※ 調査方法:平成 12 年度まで個別面接聴取法、平成 14 年度から郵送法

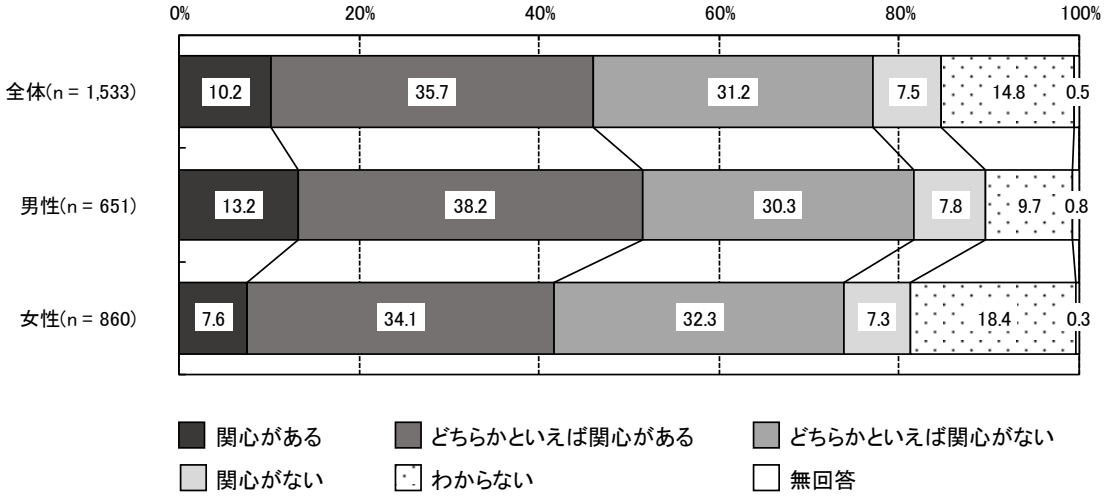
経年変化（年代別）（図 10-3）でみると、70 歳以上では一貫して“関心層”が“無関心層”より高くなっている。

図 10-3【経年変化（年代別）】県事業への関心の有無



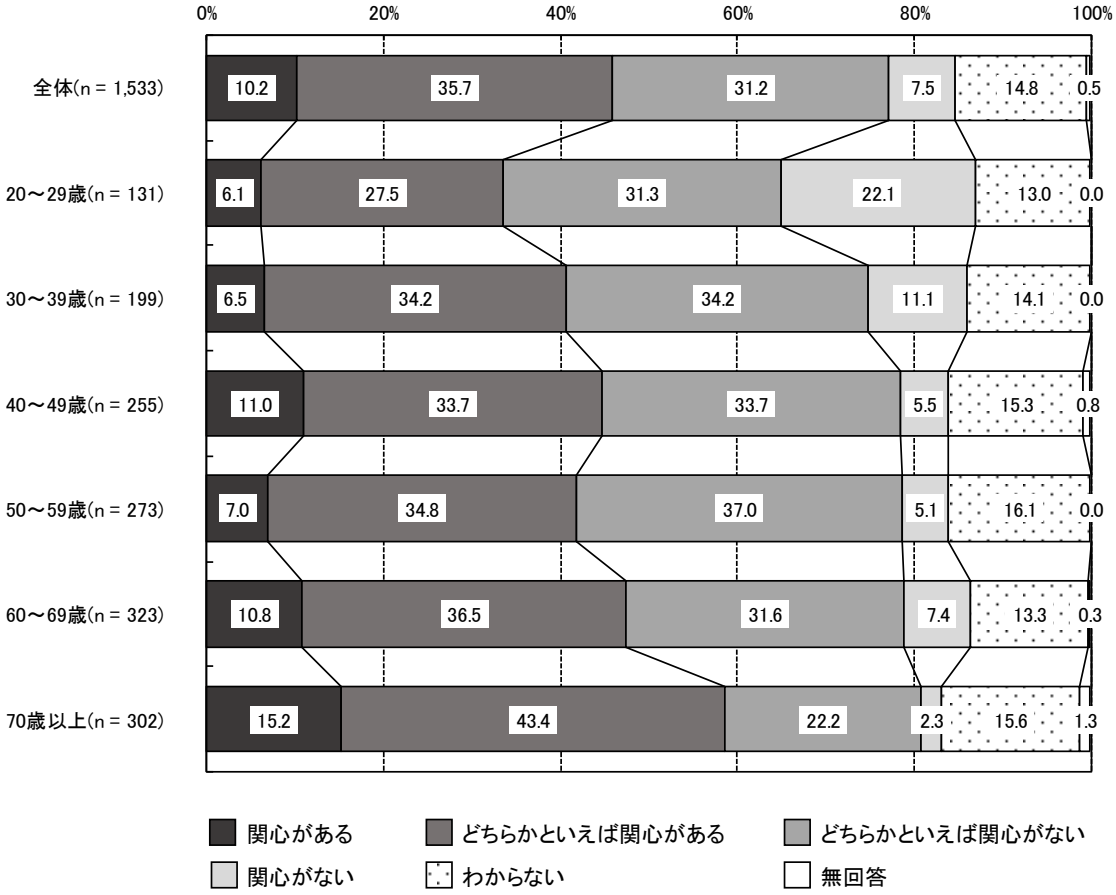
性別（図 10-4）でみると、男女ともに「どちらかといえば関心がある」が最も高く、男性が 38.2%、女性が 34.1%となっている。

図 10-4【性別】県事業への関心の有無



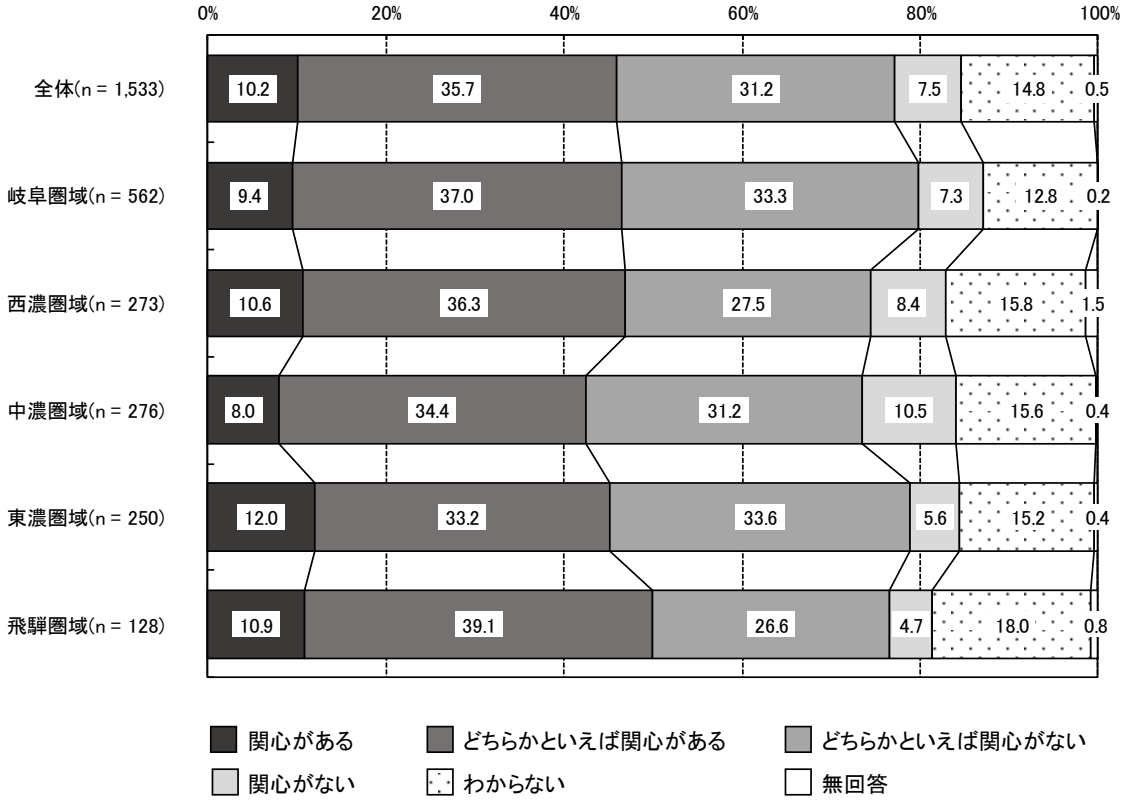
年代別（図 10-5）でみると、20 歳代、50 歳代では「どちらかといえば関心がない」が最も高く、そのうち 50 歳代が 37.0%と最も高くなっている。60 歳代、70 歳以上では「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち 70 歳以上が 43.4%と最も高くなっている。

図 10-5【年代別】県事業への関心の有無



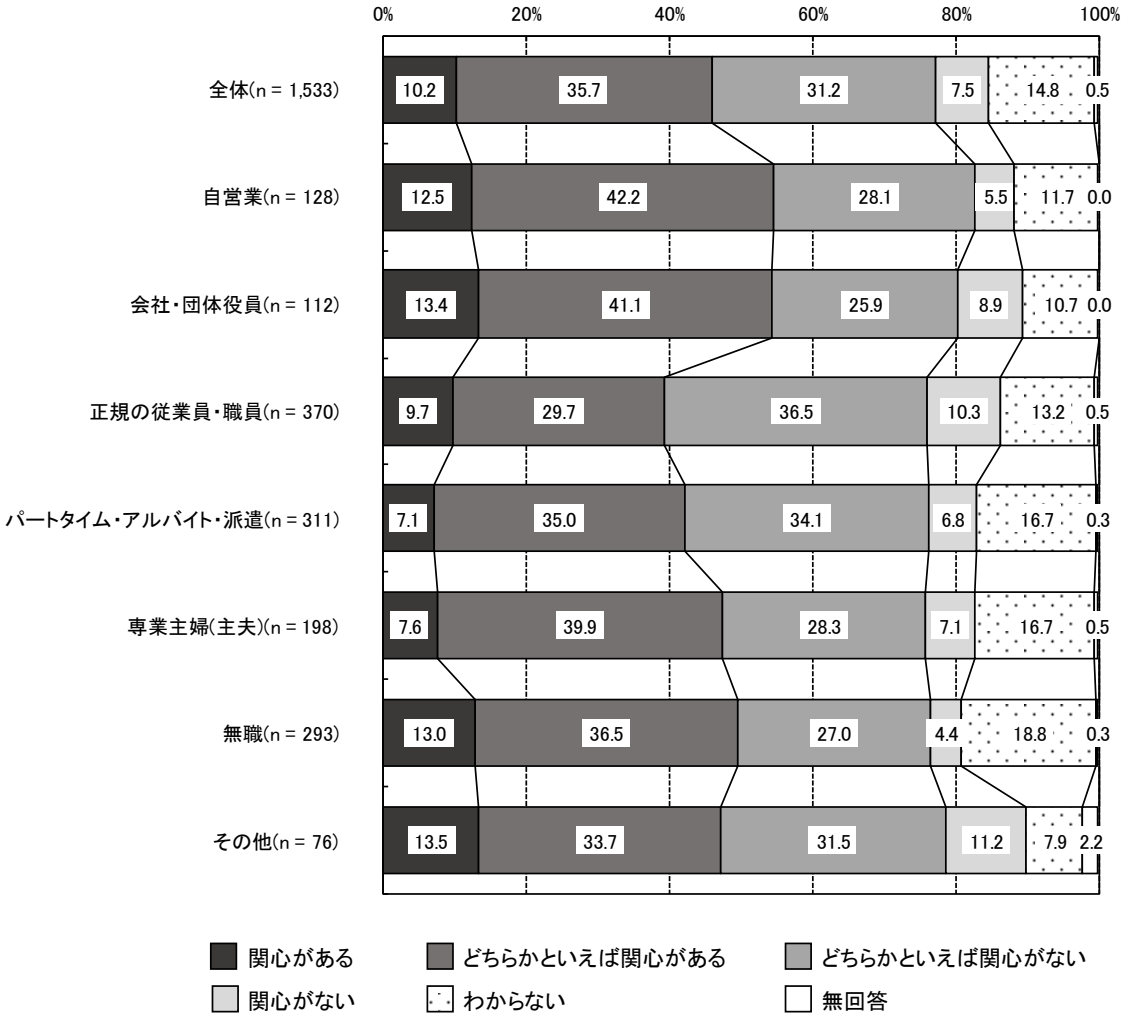
居住圏域別（図 10-6）でみると、東濃圏域を除く、いずれの圏域においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち飛騨圏域が 39.1%と最も高くなっている。東濃圏域においては、「どちらかといえば関心がない」が 33.6%と最も高くなっている。

図 10-6【居住圏域別】県事業への関心の有無



職業別（図 10-7）でみると、正規の従業員・職員を除く、いずれの職業においても「どちらかといえば関心がある」が最も高く、そのうち自営業が 42.2%と最も高くなっている。正規の従業員・職員においては「どちらかといえば関心がない」が 36.5%と最も高くなっている。

図 10-7【職業別】県事業への関心の有無



※ その他には、自由業、学生を含む